

あたたかい  
心のひかる  
福祉のまちづくり

# 岡山市連合婦人会会報

平成27年2月5日  
編集兼発行人  
岡山市連合婦人会  
塩見 榎子  
岡山市中区小橋町 一丁目三〇  
電話 二七二七八八六  
印刷所  
岡山市北区表町一丁目四〇  
株内外総合通信社

## 華やかに新年互礼会 初の獅子舞に会場沸く



盛大に開催された新年互礼会（ピュアリティまきび）

平成二十七年の幕開け、一月九日にピュアリティまきびに於いて岡山市連合婦人会新年互礼会が開催されました。

華やかさの中に程よい緊張感が漂う会場には、今年も無事にこの会に出席できる事の喜びが溢れています。そんな中、塩見会長の年頭の挨拶から始まりました。会長の熱い思いが出席者の皆様の心に届いたことと思えます。

引き続き大森市長、則武市議会議長、山脇教育長、目黒連合町内会会長のお言葉と続きます。それぞれの方に素晴らしいご挨拶をいただき、出席した皆が思いを新たに乾杯の杯を重ねました。これからは新年の宴の始まりです。市長扮する神主さんの祝詞に続いて、来賓の方たち扮する七福神が可愛い美女

### 塩見会長 新年挨拶



新年あけましておめでとーございませう。お高いところからではございますが一言、挨拶申し上げます。岡山市連合婦人会は、市民生活の質の向上や安全安心、福祉の増進を目指して一人ではできない活動や、みんなの力でやっていく組織です。皆さんの力を結集して今年も地域が活性化され笑顔があふれる街になるよう頑張っております。引き続き関係機関の皆様方の指導をよろしくお願い申し上げます。

### 岡山の賑わい創出へ

導をよろしくお願ひ申し上げます。また今年十一月八日（日）「おかやまマラソン」が五千人規模で開催されます。

最後は全員で輪になりました。さあ、今年一年頑張りました。今年一年のそれぞれの活躍、婦人会の益々の発展を願う散会となりました。今年、初挑戦の手作り獅子舞（ピュアリティまきび）



## 未来の可能性感じる

### 岡山ドームで集い 新成人にうどん提供

「ひまわりうどん」を味わい、笑顔の新成人（岡山ドーム前広場）



平成二十七年一月十一日（日）岡山市北区北長瀬表町の岡山ドームにて「新成人の集い」が五千三百人の参加者で開催されました。午前十時頃より、振袖や袴姿の新成人がぞくぞくと広場に集まり、華やかな雰囲気になりました。「オッ！」「キャー」と



新成人でにぎわう婦人会の屋台前（岡山ドーム前広場）

歓声が飛びかき、久しぶりの再会を喜び合っている様子が印象的でした。ドームの中では、オープニングあいさつ後、大人の常識クイズとか、複数のうらじゃ愛好者グループが踊り、賑わっていました。外は北風の吹く寒い一日だったので、あったかゾーン屋台の婦人会ひまわりうどんは「美味しい」「心の中で温かくなる」。晴れ着が汚れないように割烹着をつけてうどんをすすっている笑顔の新成人に私たちもほほえんでいました。「踏み出せば若木（わたし）の未来（未来）は、新成人の無限な未来を象徴している様で感動でした。」

# いつまでもお元気で

## 岡山ドームで 2000人の長寿祝う

平成26年10月16日(木)市内各地区から約2000人の高齢者の方々が集い、岡山ドームにて第65回岡山市合同敬老会が開催されました。

午前十時三十分からの開会式で大森雅夫市長が「健康寿命が長い高齢者になれるよう安全で安心して住み慣れた地域で暮らしていく町づくりを推進しています。いつまでもお元気でいてください」とあいさつされました。続いて、高齢者代表、

高齢者夫妻代表に記念品が贈呈され、高齢者代表の心のこもった謝辞がありました。

高齢者有志が若々しく熱演

式典後、幼稚園児の元気な演技でアトラクションが始まり、婦人会有志が賑やかで楽し

い踊り、また高齢者有志による出し物で演歌

や踊り、詩吟等次々に披露され会場を盛り上げました。年齢を感じさせない皆さんの若々しい演技と熱演に私たちが元気をもらいました。最後は有志の仗つみ歌にあわせて大黒様にした。折(ぶん)した市職員や婦人会員が参加者全員に「福飴」を配り、総踊りで締めくくりました。来年も皆さんお元気で会いましょう。



式典で「君が代」を斉唱する参加者(岡山ドーム)

来年度は10月15日開催予定

この敬老会は岡山市・岡山市社会福祉協議会と岡山市連合婦人会との共催事業で、毎年敬老会は数え年八十歳以上の方を対象に開催しています。合同敬老会に参加されていない地区や学区はそれぞれの学区・地区で他団体と協力し色々工夫して実施されています。ちなみに平成二十七

## 珍しい植物の数々堪能 140人が半田山植物園散策

今年の「緑のハイキング」は十月六日、開



出発前、半田山植物園に集合した参加者(半田山植物園)

年度は、昭和十一年十月三十一日以前生まれの方が対象で、合同敬老会は平成二十七年十月十五日、岡山ドームで実施の予定です。

した。台風の影響した前夜からの大雨もあがり、すばらしい秋空の下、一般参加者百四十人で、夜咲きハス雌花の滅多に見られない残り咲きや濃色バラ等、色とりどりの可愛



ハイキング後に行われた寄せ植え教室(半田山植物園)



総踊りで盛り上がるフィナーレ(岡山ドーム)

## 自分の思い舞台上で表現

### 婦人文化祭 非日常楽しむ出演者



緊張感をやわらげるトップバッターのコーラス(岡山市民文化ホール)

第39回岡山市婦人文化祭が10月21日、岡山市立市民文化ホールで開催されました。最初に婦人文化祭が開催されたのは、岡山市連合婦人会の25周年を記念してとの事。今では地域づくり・文化づくりの集大成の場となっております。



華やかな総踊り(岡山市民文化ホール)

プログラムは、民謡が圧力的に多く、その他には、コーラス・レクダン・フラダンス・大正琴・傘踊りなど。皆さん楽しく自分の思いを、精いっぱい表現していました。あるテレビ局の「元気の秘訣はなんですか?」というインタビューに「普段は着られないようなはでな舞台衣装を着て、非日常を楽しむこと」「家に引込むのではなく、積極的に皆さんの中に出ていくこと」と答えていました。



ちよっと一休み喫茶コーナー(岡山市民文化ホール)

評議員研修

# 地震・津波防災学

## 和歌山「稲むらの火の館」見学



史跡・広村堤防で詳しい説明を受け感動する評議員（和歌山県広川町）



「稲むらの火の館」の見学に入る評議員（和歌山県広川町）

平成二十六年十一月二十七日・二十八日、和歌山県へ一泊での評議員研修がありました。参加者五十人を乗せたバス二台は、紅葉真っ盛りの山々を横目に

まっしぐら目的地へ向かいました。四時間のちには紀三井寺到着です。昼食をいただいた後、約二百段の階段を上り参拝しました。弾んだ呼吸を整えながら、それぞれにお願いと感謝のお祈りをしました。そのあと、研修の目的地「稲むらの火の館」を見学しました。男性のガイドさんが「安政元年の津波を目の当たりにした濱口梧陵が私財を投じて高さ五尺、延長六百尺の大防波堤と津波に備え「稲むら

の火」や実践的な地震津波防災を学ぶための施設でした。3D上映により津波が押し寄せた場面に、一瞬恐怖で身が縮む思いがしました。「てんでんこ」聞きなれない言葉が画面に映りました。災害にそなえた約束です。てんでんこに避難するのですが、日常からどのように行動するかよく話し合っておくことが大切。災害時、家族の信頼をもとに自分で最も安全な方法を判断し、てんでんこに避難する。日常の心がけと適切な判断力を養うことの大切さを実感しました。その後ホテルに到着



参加者全員で記念撮影（和歌山県白浜町千畳敷）

し、長旅で疲れた体が安堵し、入浴と夕食の楽しみに変わりました。夕食は、土地の名産をこころに、和やかなひと時を過ごしました。二日目は雨模様でしたが、「紀州梅干し館」をたずね、果皮のやわらかな南高梅の特徴を生かしたうめぼし生産工程を視察しました。道路沿いにミカン畑が連なり、さすが和歌山県という景色を眺めながら白浜千畳敷へ向

しました。そのあと、カラオケ・ビンゴゲームで盛り上がり、連合婦人会の親睦、連帯感が一層強まったことを感じました。二日目は雨模様でしたが、「紀州梅干し館」をたずね、果皮のやわらかな南高梅の特徴を生かしたうめぼし生産工程を視察しました。道路沿いにミカン畑が連なり、さすが和歌山県という景色を眺めながら白浜千畳敷へ向

### リサイクル工場視察 広島・府中で市消協



リサイクル工程の説明を受ける参加者（オガワエコノス）

九月二十五日(木)、恒例の岡山市消費生活

かいました。白浜三段壁とならび数億年の年月をかけて太平洋の荒波の影響で作られた自然の美しさは圧巻でした。「とれとれ市場」で昼食に海鮮丼をいただき、舌鼓を打った後、主婦であることを自覚しはじめたようにたく



工場内を見学する参加者（オガワエコノス）

まず本工場に着くと、ヘルメット、インターホン、マスク、工場見学メモ用紙を渡され、工場内の説明を聞きながら見学しました。最初の資源選別場では、回収された福山市指定のゴミ袋を開き、中に入っているさまざまな廃棄物、紙、ナイロン袋、プラスチック、ビン、ペットボトル等を悪臭の中で数人の人の手によって種類に分けていました。岡山市による分別収集との違いにびっくりし、岡山市は先進的だと感じました。鶏糞工場では、分別された廃棄物が再資源化され、堆肥、固形燃料等に生まれ変わっていました。

### 民事調停で円満解決

#### 消費者大学で利点紹介

十一月六日(木)、十三日(木)「くらしの中のトラブル解決」というテーマで消費者大学が開かれました。十三日は七人の民事調停委員の出席のもと分かりやすく説明がなされました。どちらが



民事調停について説明する講師（11月6日、岡山市勤労者福祉センター）

正しいか判断する裁判ではなく当事者同士が話し合いで円満解決できる場所を提供するのが民事調停です。条理に合い実情に則してお互いに話し合い融通がきいた結論をだすのです。民事調停が裁判よりよい理由として、①申し立てが簡易②早い③経費が安い④合意ができる⑤秘密が守られる⑥が、あげられます。⑦デメリットとして、申し立てをしても相手が



模擬調停が行われた第2回消費者大学（11月13日、岡山市勤労者福祉センター）

応じて来ないと裁判と違って結論が出ないこともありますが、ほぼ出てこられます。調停委員のメンバーは、弁護士、司法書士、社会保険労務士等、専門職と民間企業、公務員のOB等です。

調停委員は、弁護士、司法書士、社会保険労務士等、専門職と民間企業、公務員のOB等です。

### 人体むしばむ危険知る

#### 「薬物」テーマに講演会



危険ドラッグなどについて講習を受ける評議員（岡山市立中央公民館）

平成二十六年十一月十日(月)岡山市連合婦人会全評議員会の後、百三十五人の参加により、中央公民館で講演会がありました。講師は金光薬品株式会社薬剤師・スポーツ

「てんでんこ」聞きなれない言葉が画面に映りました。災害にそなえた約束です。てんでんこに避難するのですが、日常からどのように行動するかよく話し合っておくことが大切。災害時、家族の信頼をもとに自分で最も安全な方法を判断し、てんでんこに避難する。日常の心がけと適切な判断力を養うことの大切さを実感しました。その後ホテルに到着

のお水か、ぬるま湯で、決まった時間に飲む。決まりを守ることで薬の効力が発揮される。次に、薬には病気を治す働きと副作用があるという。薬の説明書をよく読み、副作用が出たら薬手帳につけ、きちんとお医者さんに薬物乱用についてのお話がありました。

アーマシストの藤原孝子さんと、演題は「薬物乱用の現状と青少年への影響」です。まずは病気になる前の薬の種類や飲み方。コップ一杯くらい

人間の脳がこのように侵されていくと説明を受け、背筋が寒くなる感じがしました。そして、最後に、薬物乱用に至るには、日常生活面や行動面からの影響が大きいので、家族で話し合える環境と、何でも相談でき信頼できる人を日ごろから持つことが大切と、教えていただきました。

アーマシストの藤原孝子さんと、演題は「薬物乱用の現状と青少年への影響」です。まずは病気になる前の薬の種類や飲み方。コップ一杯くらい

研究協議会による産地見学で、岡山駅西口バスターミナルからバス二台に六十三人が分乗し九時三十分に出発しました。見学先は広島県府中市の株式会社オガワエコノスです。「エコロジー」をテーマに地域社会と地球の未来に貢献する「自然にやさしい」会社を実現するべく積極的な活動を行う」と

工場見学後、家庭などから出たゴミのリサイクル方法について講習を受ける参加者（オガワエコノス）

この見学をおし、私達一人一人が環境ESDについて考え学び活動していかなければならないと感じました。よい研修であったと思います。

「クリスマスッキング」交流会担当スタッフ（岡山ふれあいセンター）



### 料理で男女交流 婦人会員が若者後押し

出会い事業

岡山市では、少子化対策で平成十九年度から出会い事業を行って、その一部を岡山市連合婦人会が協力しています。今年度も平成二十六年十二月七日（日）岡山ふれあいセンターで「出会いの鐘があなたに鳴り響く」と題して、恒例のクリスマスッキング教室をしました。

男女各二十四人がグループに分かれて各一人の婦人会員が世話につきまします。岡山県栄養士会OBでクッキング教室アドバイザーの渡辺寛子先生の指導の下、調理開始です。



若者向けのクリスマスメニューで、デコレーション寿司、和風ミートロップ、キノコのミルクスリスマスムード一色の飾りつけ、ツリー、サンタツカんの四品でした。各テーブルでは、男女の会話も弾んで協力して手際よく、きれいに盛り付けられ、華やかなクリスマスランチとなりました。皆さん和やかに美

スタート前の緊張感あふれる選手たち（カンコースタジアム）



## ユネスコ・ESD会議

# 活動をパネルで紹介

市連合婦人会 世界へ向け英語併記

「国連持続可能な開発のための教育の10年」の最終年である2014年11月に国際教育科学文化機関（ユネスコ）と日本政府の共催により、愛知県名古屋市及び岡山市において「持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議」が開催されました。



「未来へつなごう！おかやまESDふれあい広場」に展示された岡山市連合婦人会のパネルと会報（岡山コンベンションセンター）

岡山市連合婦人会では、平成二十六年十一月七日（金）と八日（土）岡山コンベンションセンターの一階イベントホール「未来へつなごう！おかやまESDふれあい広場」のパネル展示会場にESDに関する取り組みを展示しました。岡山市連合婦人会は昭和二十一年十二月の創設当時から、女性の地位向上や消費・福祉・環境問題など市民生活にかかわる多岐の分野にわたる事業について、行政や他団体と連携しながら、先駆的で公益的な活動を精力的に続けています。

## 沿道からランナー応援

山陽女子ロードレース大会

### 例年より1カ月早く開催

平成26年11月26日（日）第33回山陽女子ロードレース大会が開催されました。有森裕子杯ハーフマラソンが10時、人見絹代杯10キロロードが10時15分、号砲を合図にカンコースタジアムより開始されました。

例年より約一カ月も早く開催されたこのレースは、秋晴れのさわやかな風を受けながら



タスキをかけて声援する婦人会員ら（岡山市北区大和町）

の心温まる声援で熱気につつまれていました。婦人会員も各場所での給水所手伝いや、コース沿道で「山陽ロードレース大会」と書かれた黄色いタスキをかけて応援に参加しました。岡北大橋を下った付近岡山市北区大和町・中井町・学南町でも小旗を振りながら、五十人のタスキをかけた婦人会員や応援の方々が選手の一一人にエールをおくっていました。

## 編集後記

### 70年間の歩み踏まえ 未来見据えた活動を

年が明けて、干支の羊のようになんと、沿道の方々頑張るって走る選手のみならず、秋晴れのさわやかな風を受けながら、タスキをかけて声援する婦人会員ら（岡山市北区大和町）の心温まる声援で熱気につつまれていました。婦人会員も各場所での給水所手伝いや、コース沿道で「山陽ロードレース大会」と書かれた黄色いタスキをかけた応援に参加しました。岡北大橋を下った付近岡山市北区大和町・中井町・学南町でも小旗を振りながら、五十人のタスキをかけた婦人会員や応援の方々が選手の一一人にエールをおくっていました。